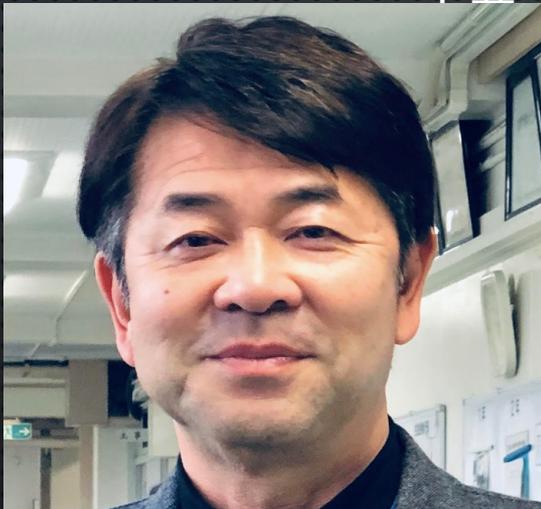


ラーニング・ファシリテーターの 流儀

ト井



「学びのシフトチェンジ」
ファシリテーターのキャリアストーリー

上井 靖 UWAI YASUSHI
NPO日本ファシリテーション協会フェロー
寺子屋朝日 2024.5.19

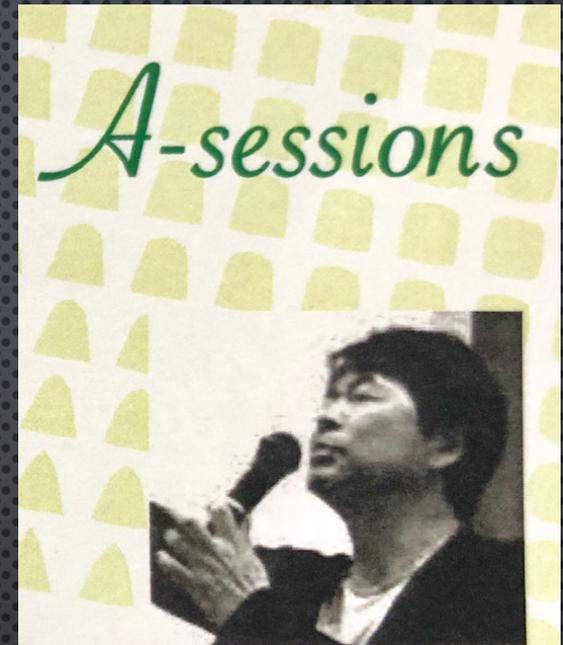
上井 靖 うわい やすし

・ A-sessions代表

学び・ライフキャリア・組織開発

コンサルタント/ファシリテーター/ジェネレーター
コーディネーター/プロデューサー

- ・ 対話型組織開発でのコンサルティング
- ・ 研修・会議・アイデア創発などのファシリテート
- ・ 人や組織をつなげるコーディネート
- ・ プロジェクトやイベントでのプロデュース など



- ・ 愛知みずほ大学特任教授、金城学院大学・相山女学園大学非常勤講師
- ・ 名古屋市のライフキャリア教育・学習支援・フリースクールに関わる
- ・ NPO日本ファシリテーション協会フェロー、NPOアスクネット理事
- ・ 国家資格キャリアコンサルタント ・ 法務局人権擁護委員
- ・ 元名古屋市立公立中学校長、元教育委員会指導主事

ファシリテーターは闘う

NPO日本ファシリテーション協会(FAJ)
発起人の堀公俊さんは、

- 参加者と闘う
- 主催者と闘う
- ファシリテーターと闘う
- あらゆる理不尽に立ち向かう
- あえて波風を立てよう

ファンリテーターは信じる。

上井 靖は

- 主体性と可能性を **そそのかす**
 - 自他を信じ、委ねる
 - 化学反応を楽しむ
 - **正解同調圧力**に向き合う
 - これからが今までを決める
- * **案ずるより、うわいやすし**

自己紹介&チェックイン

お名前は？
今日はどちらから？

参加のきっかけは？

日頃は
何をされてるの？

今のご気分は？

Part 1

ファシリテーターとは？

ファシリテーションとは？

ファシリテーションとは？

facilitate 容易にする、**促進**する

facilitation 集団による**知的創造活動**を
促進するはたらき

* 化学反応、グループダイナミクスが生まれる

facilitator **場**をおこす・**促す**役割

プロセスにかかわる

外面的なプロセス

内面的なプロセス

* コンテンツとプロセス

ファシリテーターは、チーム活動の外面的なプロセス、内面的なプロセスの両方に関わっていきます。

○外面的なプロセス

段取り、進行、プログラムといった、活動の目的を達成するための外面的なプロセスのこと

○内面的なプロセス

メンバー一人ひとりの頭や心の中にあるプロセスのこと

具体的には、考え方や筋道などの思考的なプロセスや、感情の動きやメンバー同士の関係性などの心理的なプロセス

チーム活動を円滑に進めるには外面的なプロセスが大切ですが、成果や満足感を左右するのは内面的なプロセスです。

チーム活動の中では、メンバーの考え方の枠組みや様々な思いがぶつかりあって、感情も関係性も常に変化しています。変化するからこそ、新しい考えが生まれたり、対立している人と合意形成ができます。

まさにこれこそがチーム活動のダイナミズムであり、ファシリテーターは両方のプロセスに関わることで、人と人の相互作用を促進しているのです。

ファッションに出会い
今の自分にたどり着いた
私の物語に
おつきあいでください

私のファシリテーター物語

- 1 ファシリテーションとは？
- 2 ファシリテーションとの出会い
- 3 科学的合意形成を目指す！
- 4 正解はあるの？ 対話のススメ
- 5 コンフォートゾーンからの脱出！
今回はここまで

- 6 とあるアクティビティとの出会い
- 7 同調圧力、正解圧力を感じる時
- 8 とある方との出会い
- 9 正解同調圧力からの脱出
- 10 自分のキャリア・デザイン
- 11 対立、分断の架け橋

Part 2

ファシリテーションとの出会い

2006年

コーチングを学んでいた頃の名古屋市教育センター指導主事時代、教育センター内の所員の報告で、「ファシリテーション」という言葉に、「何それ？」と反応した。

インターネットでNPO日本ファシリテーション協会(FAJ)中部支部を発見、お試しの定例会に参加。

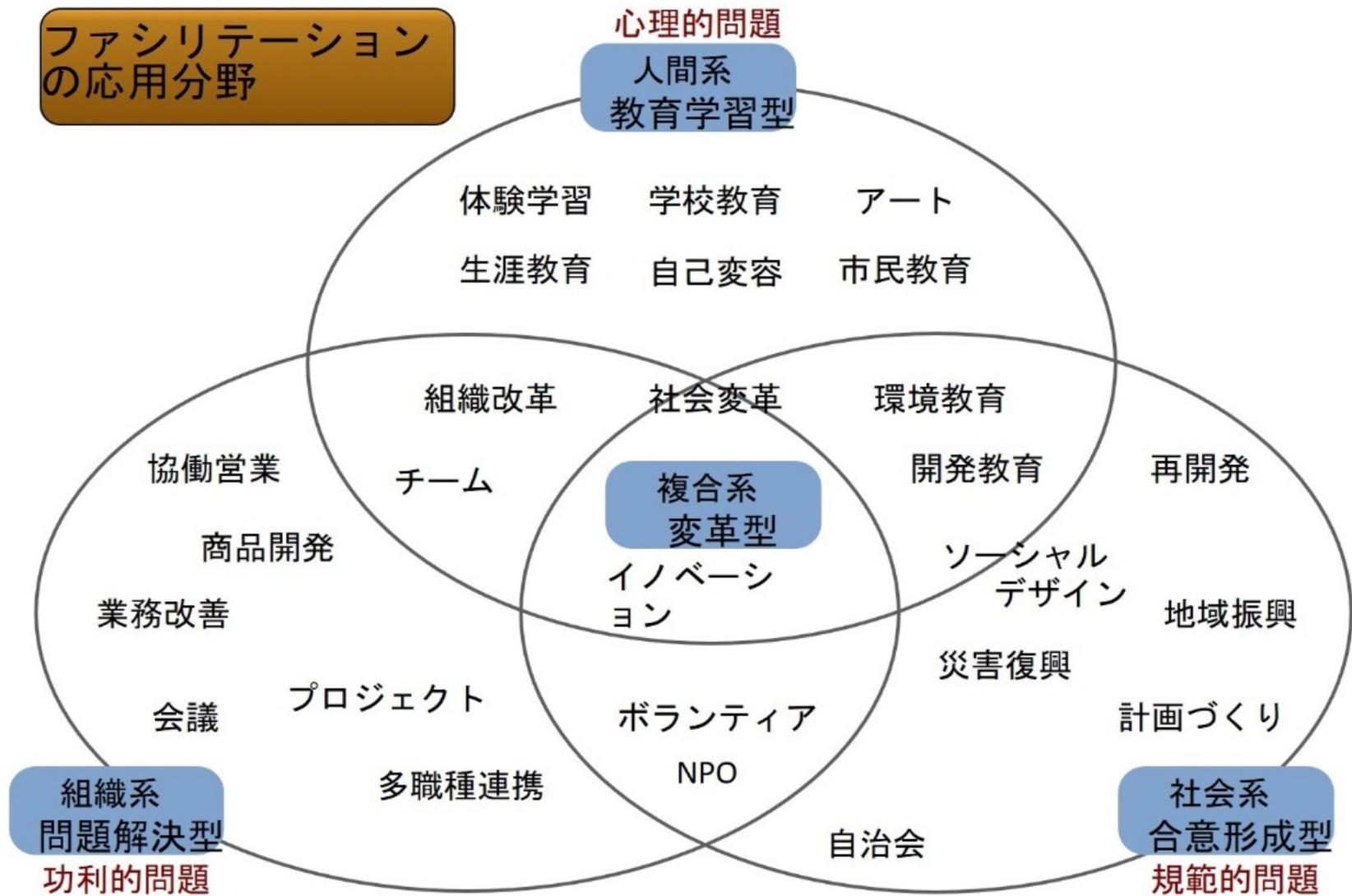
「これだ！」と確信し、6月にFAJに入会。定例会で学んだことをすぐに教員研修で活用。

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 (FAJ) の定例会、スタッフ運営委員会などで学び、活用していること

- ・ 会議の種類、目的、ゴール、アジェンダ、役割
- ・ 場づくり ・ アイスブレイク ・ チェックイン ・ アウト
- ・ 傾聴 ・ 発散と収束 ・ ブレーンストーミング ・ KJ法
- ・ 見える化 ・ ファシリテーショングラフィック
- ・ 構造化 ・ フレームワーク ・ 付箋の活用
- ・ 振り返り ・ フィードバック ・ 共有
- ・ 問い ・ コンテンツとプロセス
- ・ 対話 (ダイアログ) ・ ワールドカフェ ・ OST
- ・ ミッション、ビジョン、バリュー
- ・ ワークショップ ・ チームビルディング ・ KPT
- ・ デザイン思考 ・ システム思考 ・ 未来思考
- ・ ポジティブアプローチ ・ ナラティブアプローチ

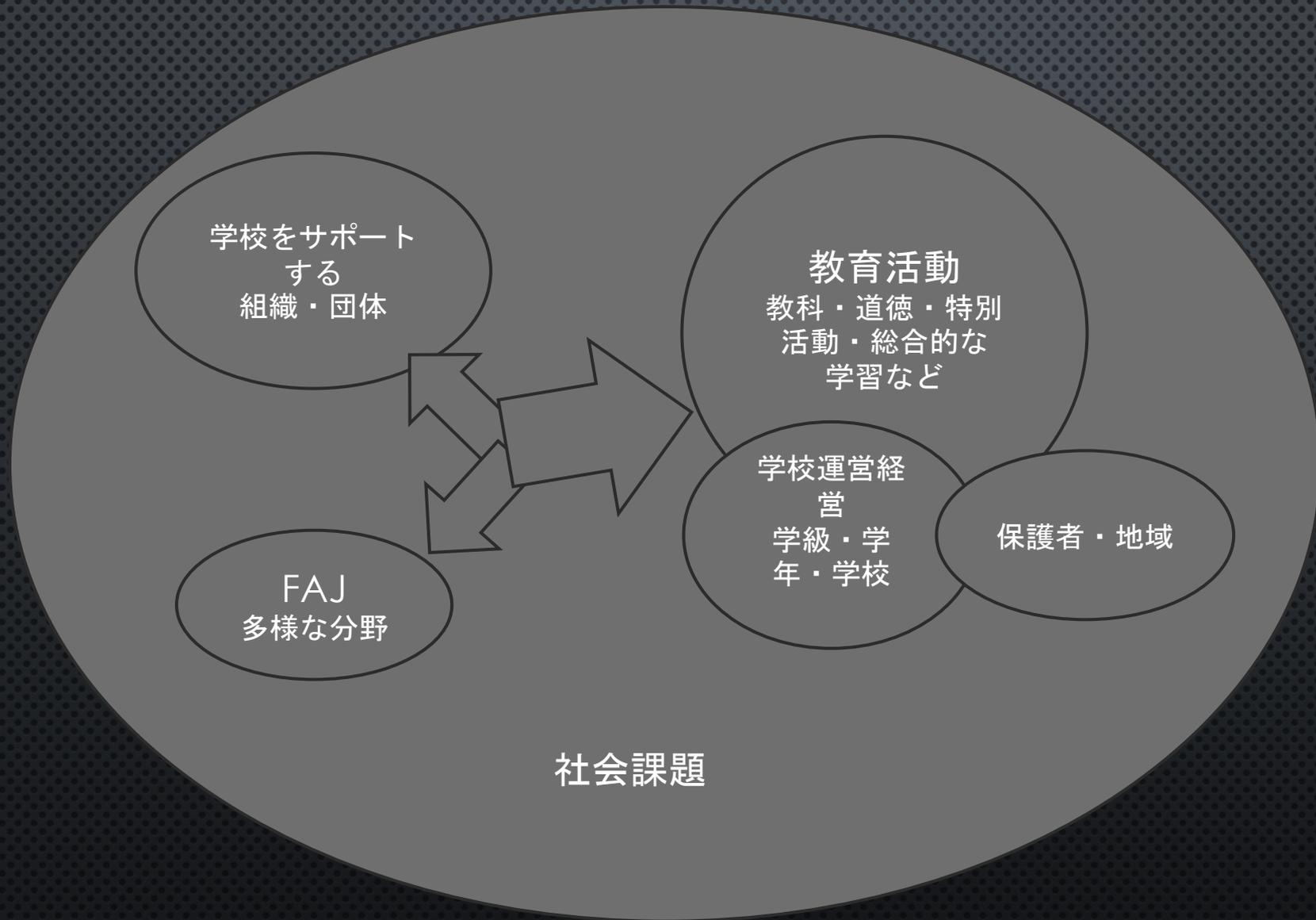
などなど

ファシリテーション の応用分野



『ファシリテーション入門<第2版>』堀 公俊 日本経済新聞社

私のファシリテーションの活用場面

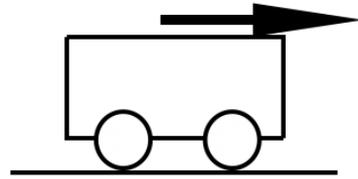


Part 3

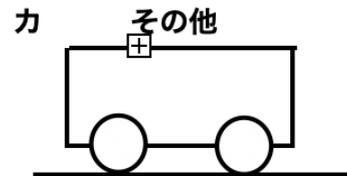
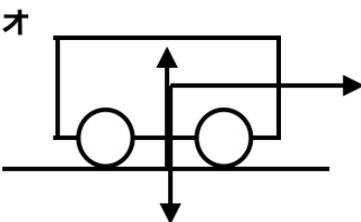
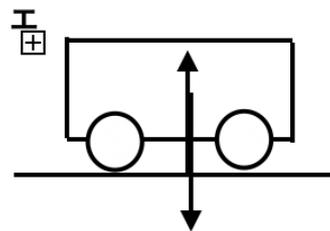
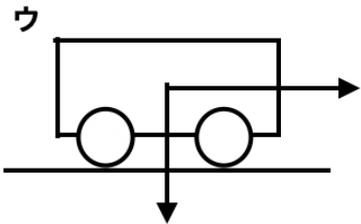
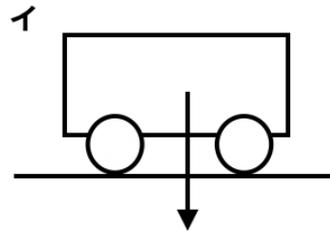
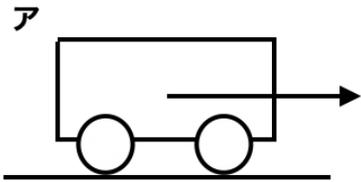
中学校3年理科

科学的合意形成を目指す！

問い 台車を手で軽く右に押した。手から離れたあとの台車にはたらく力を次のアから力の中から選びなさい。



空気抵抗、摩擦はないものとする

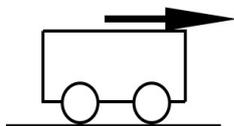




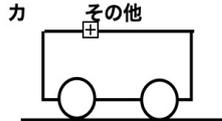
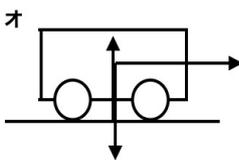
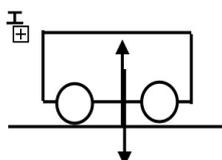
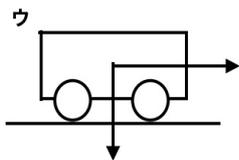
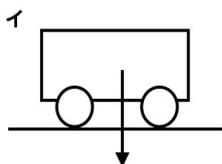
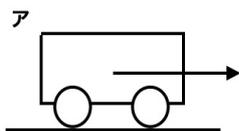
◆ 中学3年理科「物体の運動」

力学台車にかかる力は？

<p>本日のミッション 全員で科学的合意形成を目指す！</p>	<p>心得 ・あきらめない！ ・わかったつもりは× ・わからせたつもりも×</p>
<p>問い 台車を手で軽く右に押した。 手から離れたあとの台車にはたらく力を次のアから力の中から選びなさい。</p>	<p>自分の考え ・1回目 ・2回目 ・3回目 ・4回目</p>



空気抵抗、摩擦はないものとする



ミッション

やり遂げたいこと

全員が納得することを目指す！

心得

- ・ わかったふり ×
 - ・ わからせたつもり×
 - ・ あきらめない◎
 - ・ ?と思ったら口に出そう！
- 一人も見捨てない！

1回目調査

チャットのURLをクリックし、調査に答えてください。

中学1年生では、

「力」についてどんなことを学習したのか？

- 力のはたらき
- 力の表し方
- 力の種類
 - 離れていてはたらく力
 - くっついていてはたらく力



2回目調査

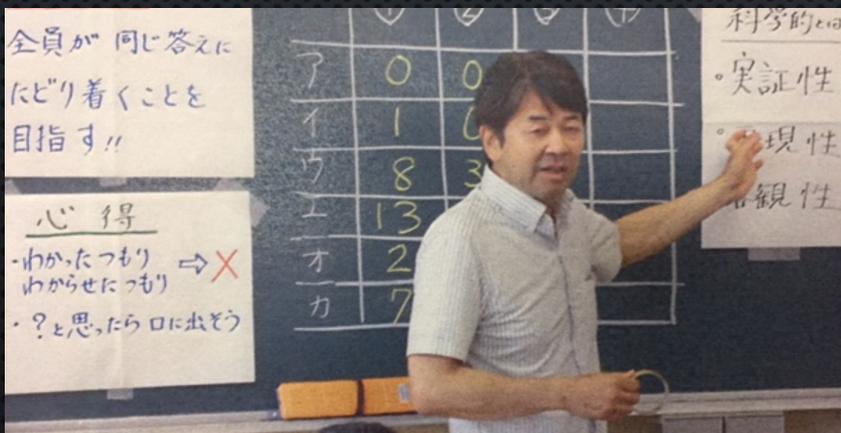
チャットのURLを
クリックし、調査に
答えてください。

- 実証性
- 再現性
- 客観性

科学的とは？

3回目調査

チャットのURLを
クリックし、調査に
答えてください。

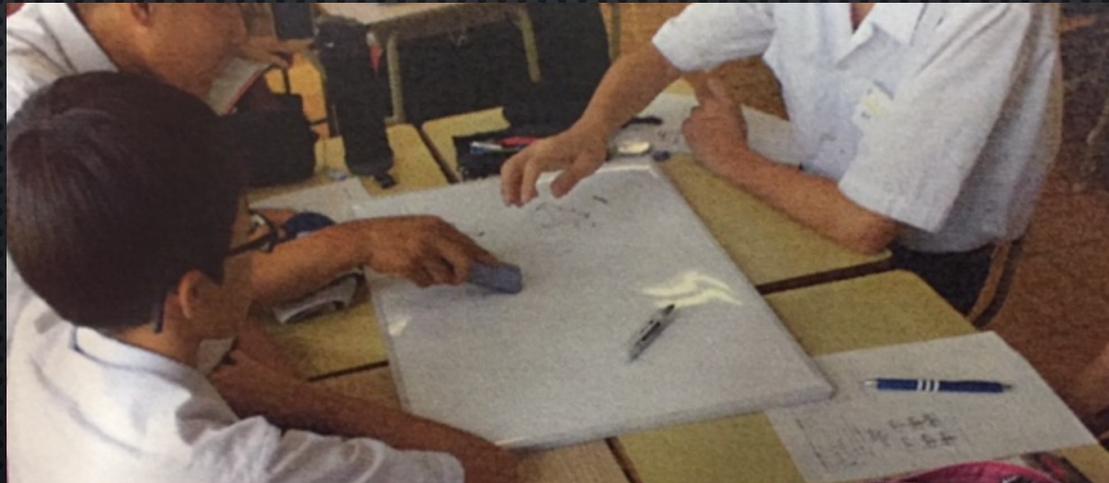


何がわかれば（解決すれば）

対立の違い

を克服することができるの？

論点、イシュー



論点

- ・ 物体が横に動いているときは力がはたらいっているのかどうか？

実験で検証

- ・ バネはかりで引っ張ってみる



4 回目調査結果
一つの記号にだんだんと収束していく
傾向が見られる



クリティカルな問い

- ・ 空気抵抗や摩擦があるとどうなるの？



- 前提が変わると、、、
- ・ 答えは変わってくる？



言い換えると、
一つ一つの前提がそろってくると、
最終的に答えが一つになるのでは？



一つ一つの前提をそろえるプロセスを
積み重ねていくことにより、科学的な
合意がつけられる



ふり返り

◆ **自発的、協働的に**

課題発見・解決できたか？

◆ **この体験からの気づきは？**

振り返り

- ① 気づき・発見は？
- ② 感想は？

ふり返り

①この授業での気づき、発見は何？

- ・条件によって多くの結果が出ることや、自分やまわりの思い込みによって答えの幅がせばまっているということがわかった。
- ・条件とはとても大切なもの、見方を変えれば全然違うものになるということに気付いた。
- ・問題に条件が明確に書いていなければ、いろんな答えが生まれてくる。
- ・みんなで意見を言い合うことで、自分も相手の気持ちになれる感じがあった。
- ・課題をみんなで解決することは大事。

ふり返り

②この授業の感想は？

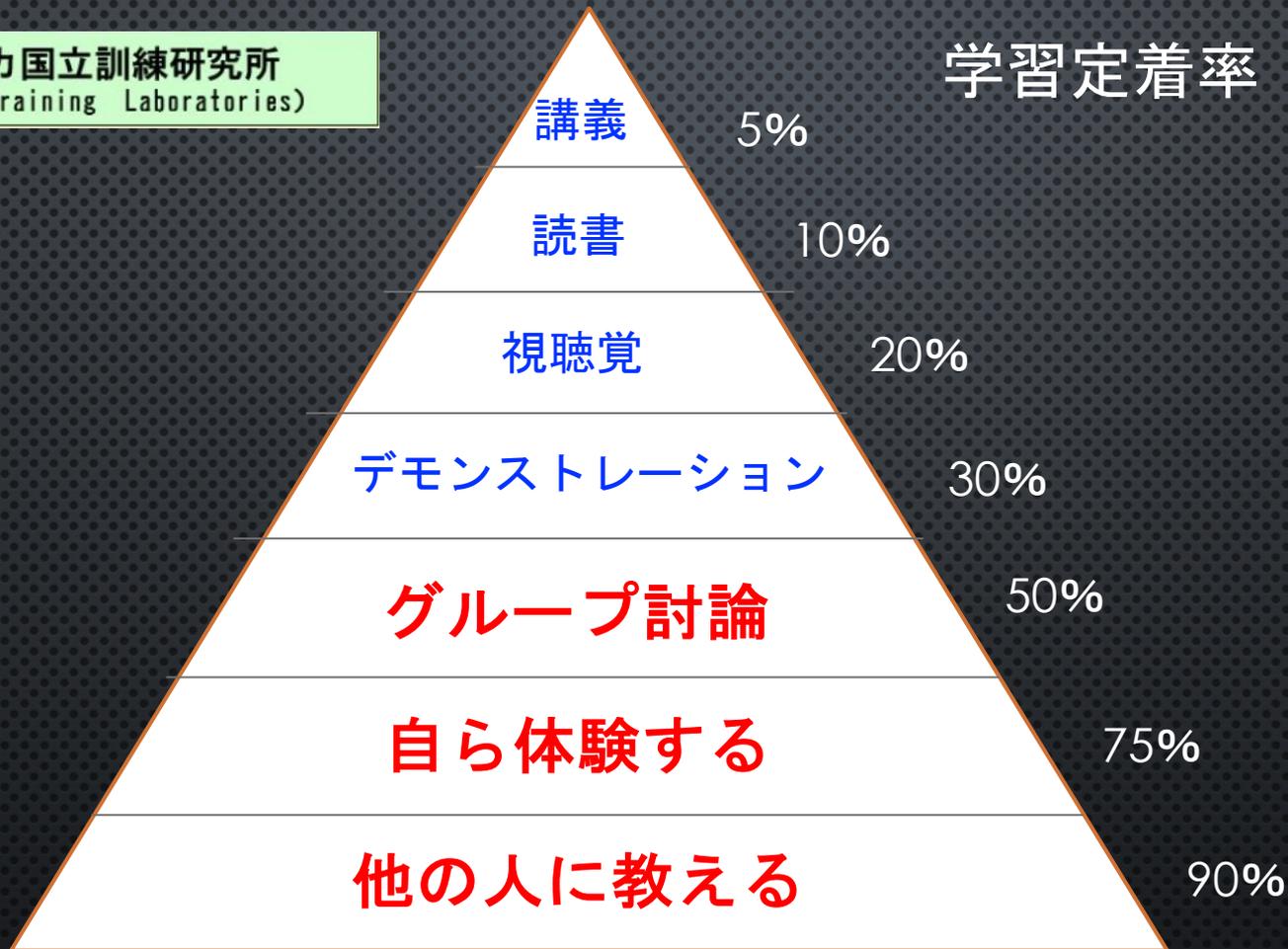
- ・素直に人の意見を聞くことはとても大事。
- ・授業の復習になりよかった。
- ・正解はひとつではない！ことがわかった。
- ・少数派にもちゃんとした意見があったので、それを否定するのはもったいない。
- ・意見を安心して言い合えるのは楽しい。
- ・？と思った時はすぐに口に出して話し合うことができた。
- ・社会に出たときにこういうコミュニケーション能力が大切だと思った。

主体的・対話的で深い学びが生まれている！

ラーニングピラミッド

アメリカ国立訓練研究所
(National Training Laboratories)

学習定着率



主体的・対話的で深い学びに
ファシリテーションは大いに役立つ！

ファシリテーションをどう活用しているのか？

当事者同士の考えを発散・収束していく
プロセスを重視した授業をデザインした。

(2) 授業デザイン

○問い

「押していた手から離れている台車に、はたらく力で
正しいものはどれか？」

○ミッション設定

「全員が同じ答にたどり着くことを目指す」

○心得の設定

「協力し合おう！わかったつもりはダメ」

○全員の考えの共有

「現段階で正しいと思う記号は？」を計4回手上げ調査

○ミニレクチャーの設定

- ・中1で学習したことは？
- ・科学的とは？実証性、再現性、客観性

○プロセスを振り返る場の設定

合意形成へのプロセス

発散 → 収束 → 発散 → 収束

- いろいろな考えOK!
- 共有
- 訊き合い、教え合い ← 対話
- ちょっと待てよ・・・クリティカルな意見
- 論点を決める、前提をそろえる

このプロセスは、会議でも使える！

クリティカルな考え

- 摩擦や空気抵抗はあるのか？
- 地球上でのことなのか？
- 水平な面なのか？



これらの前提をどうするのがポイント
→前提が変わると、答えが変わることに
気付く

このプロセスは、議論や会議でも重要！

◆ファシリテーターの役目は？

- コンテンツよりも**プロセス**に関与する。
 - 思ったことを口に出せる**安心な場**をつくる。
 - 発散、収束を促す。
 - ティーチングは極力少なくする。

 - ふり返りの場、時間をとる。
- メタ認知、学びに向かう自分の姿に気がつく**

チームだからこそ、見える化が重要！

ファシリテーターとしての役割も身に付けたい

- 場を興し、
- 場を守り、
- 場を信じ、
- 場に委ねる

◆このためには、教えることを脇に置くことができるかどうか

◆教える→学習者主体の学ぶ
にシフトチェンジ！

Part 4

正解はあるの？

考える「道徳」での
対話のススメ

道徳教材 「手品師」

出典：学研 「新・みんなの道徳5」 他多数 から抜粋

あるところに、うではいいのですが、あまり売れない手品師がいました。その日のパンを買うのもやっとでしたが、いつかは大劇場のステージに立つ日を夢見て、うでをみがいていました。

ある日、手品師は小さな男の子がしょんぼりと道にしゃがみこんでいるのに出会いました。男の子はお父さんが死んだ後、お母さんが働きに出て、ずっと帰ってこないというのです。手品師が手品を見せると、男の子は明るさを取りもどし、すっかり元気になりました。手品師は、明日もまた手品を見せてあげると約束しました。

その日の夜、友人から電話があり、大劇場に出演するチャンスがあるから、今夜すぐに出発してほしいと言われました。手品師は、はなやかなステージに立つ自分の姿と約束をした男の子の顔を かわるがわる思い 浮かべて迷ってしまいました。

Q1：あなたがこの手品師ならば、少年との約束を守る or 劇場に行く？

Q2：10歳だった頃のあなたが、この文を読んで、この手品師ならば、少年との約束を守る or 劇場に行く？

Q3：10歳のお子さんを持つ親だとしたら、あなたは自分のお子さんがこの手品師ならば、少年との約束を守ってほしい？ or 劇場に行きしてほしい？

議論

結論を出す

対話

そもそもを聞き合い、一緒に発見し、ともに作り出す

会話

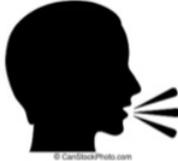
関係性を築く

場を守るためのグランドルール（心得）

心得

LISTEN 

OPEN 
MIND

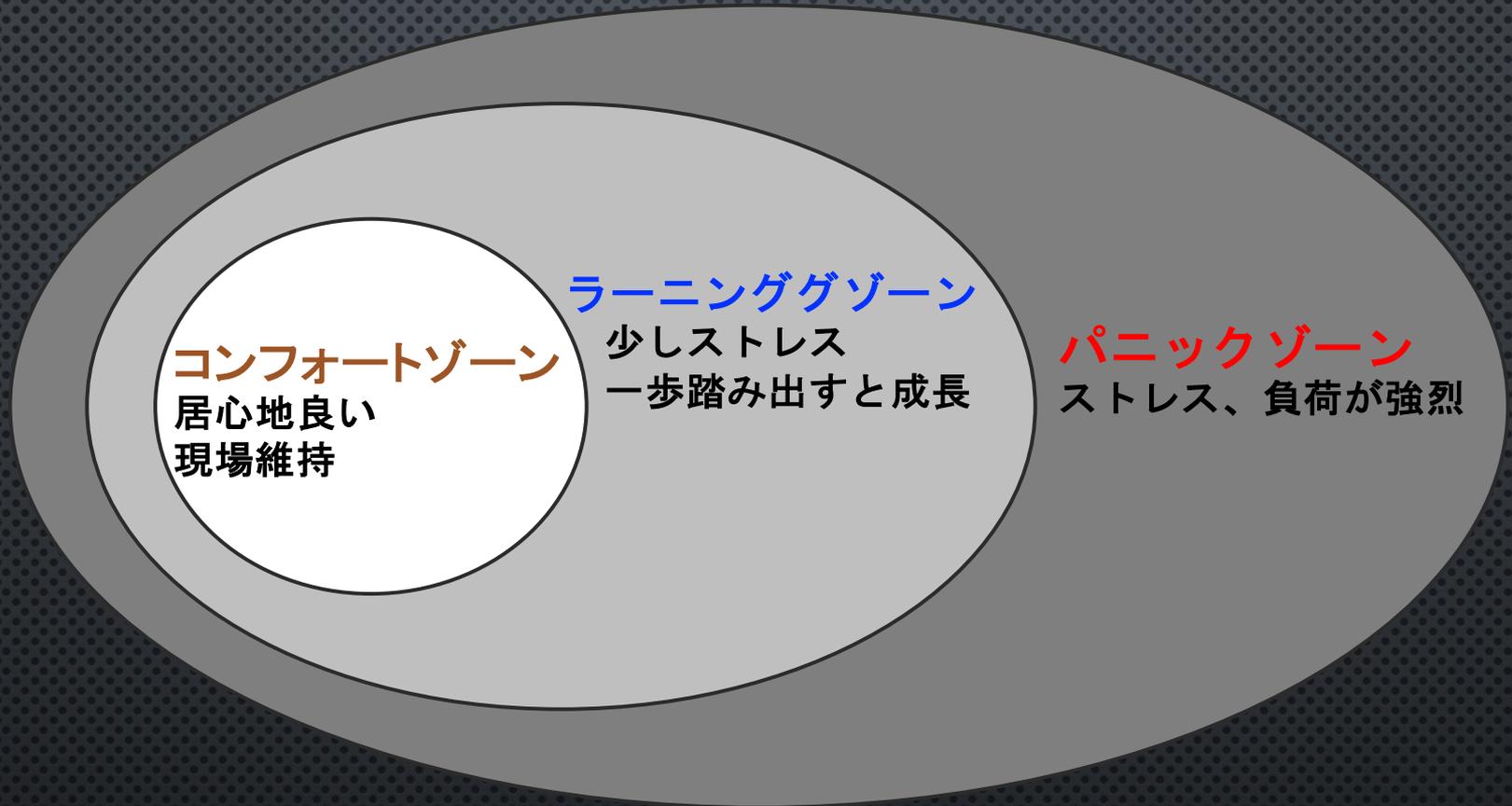
Voice 

ENOJOY 

Part 5

コンフォートゾーン(現状維持)からの
脱出！

コンフォートゾーンからの脱出！→コンフォートゾーンを広げよう！



ラーニングゾーンは、ストレッチゾーン、グローイングゾーン、チャレンジングゾーンとも言われています。

パニックゾーンは、デンジャレスゾーンとも言われています。

チェックアウト

感じて思ったことを
チャットに
ご記入ください。

ありがとうございました